

SL-7,8 Type Safety Valve (Curtain Area Restricted Type)

SL-7,8型 安全弁(揚程式)

SF製 3.0MPa・ねじ込形
SUS製 3.0MPa・ねじ込形

製品記号 SL7-N□ (レバー付、本体SF)
SL7-D□ (レバー付、本体SUS)
SL8-N□ (レバー無、本体SF)
SL8-D□ (レバー無、本体SUS)
※□内には圧力区分の記号が入ります。

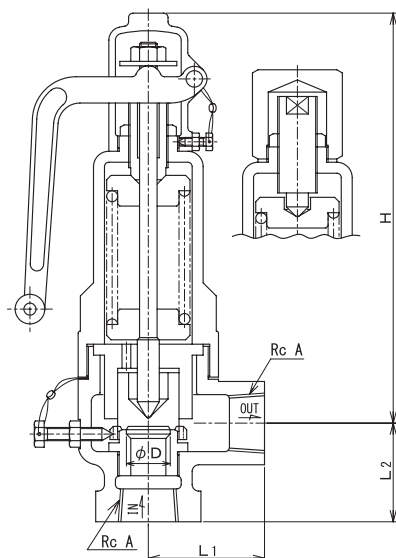


SL-7型



SL-8型

■構造図



注. 型式により構造が多少異なります。

■仕様

型式		SL-7型		SL-8型	
製品記号		SL7-N□	SL7-D□	SL8-N□	SL8-D□
		※□内には圧力区分の記号が入ります。			
キャップ形式		レバー付		レバー無	
呼び径		15～32			
適用流体		蒸気・空気		蒸気・空気・気体・液体	
流体温度		－5～235℃ ^{注1}	－5～235℃ ^{注2}	－5～235℃ ^{注1}	－5～150℃ ^{注2}
設定圧力範囲		0.035～3.0MPa			
端接続		JIS Rcねじ ^{注3}			
材質	本体	SF	SUS	SF	SUS
	弁体	SUS ^{注4}			
	弁座	SUS ^{注4}			
本体耐圧試験		設定圧力0.035MPa～1.0MPa以下：水圧にて2.0MPa 設定圧力1.0MPaを超え2.0MPa以下：水圧にて4.0MPa 設定圧力2.0MPaを超え3.0MPa以下：水圧にて6.0MPa			
取付姿勢		直立取付			

注1. 流体温度350℃以下はお問い合わせください。

注2. 流体温度300℃以下はお問い合わせください。

注3. NPTねじも製作しています。

注4. 圧力区分が2.0MPaを超えるものは弁体・弁座ステライト溶着しています。

■寸法表

(mm)

呼び径	弁座口の径 D	有効面積(mm ²) π DL	リフト L	面間寸法		高さH		接続 A	質量(kg)	
				L ₁	L ₂	SL-7型	SL-8型		SL-7型	SL-8型
15	15	18.8	0.4	50	45	207	192	1/2	2.7	2.5
20	20	31.4	0.5	50	45	207	192	3/4	2.7	2.5
25	25	54.9	0.7	70	55	254	244	1	6.5	6.2
32	32	80.3	0.8	70	55	254	244	1 1/4	7.3	7

■圧力区分(本体SF製)

(MPa)

記号	呼び径15	呼び径20	呼び径25	呼び径32
1	0.035～0.15	0.035～0.1	0.035～0.2	0.035～0.1
2	0.15を超え0.4	0.1を超え0.25	0.2を超え0.3	0.1を超え0.2
3	0.4を超え0.8	0.25を超え0.5	0.3を超え0.7	0.2を超え0.4
4	0.8を超え1.5	0.5を超え1.0	0.7を超え1.5	0.4を超え0.7
5	1.5を超え2.5	1.0を超え1.5	1.5を超え2.0	0.7を超え1.0
6	2.5を超え3.0	1.5を超え3.0	2.0を超え3.0	1.0を超え1.5
7				1.5を超え2.0
8				2.0を超え2.5
9				2.5を超え3.0

(本体SUS製)

(MPa)

記号	呼び径15	呼び径20	呼び径25	呼び径32
1	0.035～0.15	0.035～0.1	0.035～0.2	0.035～0.1
2	0.15を超え0.4	0.1を超え0.25	0.2を超え0.3	0.1を超え0.2
3	0.4を超え0.8	0.25を超え0.5	0.3を超え0.7	0.2を超え0.4
4	0.8を超え1.5	0.5を超え1.0	0.7を超え1.5	0.4を超え0.7
5	1.5を超え2.5	1.0を超え1.5	1.5を超え2.0	0.7を超え1.0
6	2.5を超え3.0	1.5を超え3.0	2.0を超え3.0	1.0を超え1.5
7				1.5を超え2.0
8				2.0を超え3.0

資料/JIS B8210-2017 安全弁 規格抜粋

■吹始め圧力

(1) 蒸気用の場合

蒸気用安全弁の吹始め圧力については、通常、規定しない。

(2) ガス用及び液体用の場合

吹始め圧力の許容差は、設定圧力に対して $\pm 5\%$ (最小 $\pm 0.025\text{MPa}$) とする。ただし、設定圧力を超えることの許されない場合の許容差は、+側を一側に加える。

なお、通常設定圧力には、吹始め圧力に対応した圧力をとる。

■吹出し圧力(ポッピング圧力)

(1) 蒸気用の場合

ボイラの安全弁の吹出し圧力の許容差は、表1による。

また、ボイラ以外の安全弁では、許容差は設定圧力の $\pm 3\%$ (最小値 $\pm 0.015\text{MPa}$) とする。ただし、設定圧力を超えることの許されない場合の許容差は、+側を一側に加える。

(2) ガス用及び液体用の場合

吹出し圧力の許容範囲は、吹始め圧力の1.1倍未満とする。また、吹出し圧力で設定する場合の許容差は、設定圧力の $\pm 3\%$ (最小値 $\pm 0.015\text{MPa}$) とする。

ただし、設定圧力を超えることの許されない場合の許容差は、+側を一側に加える。

■吹下り

(1) 蒸気用の場合

蒸気用安全弁の吹下りは、設定圧力と吹止り圧力との差とする。ただし、実測した吹出し圧力と吹止り圧力から、吹下りを定めることができる。吹下りの許容差は表2による。また、貫流ボイラ、再熱器、配管などに使用する蒸気用安全弁の吹出し圧力が 0.3MPa (ゲージ圧) を超える場合の吹下りは、設定圧力の10%以下とすることができる。

(2) ガス用及び液体用の場合

ガス用及び液体用の吹下りは、設定圧力と吹止り圧力との差とする。ただし、実測した吹出し圧力又は吹始め圧力と、吹止り圧力から、吹下りを定めることができる。吹下りの許容差は、それぞれ表3及び表4による。

注. JIS B8210のご指定のない限り、当社の吹下り基準によります。

表1 蒸気用安全弁の吹出し圧力の許容差

設定圧力 MPa (ゲージ圧)	許容差 MPa
0.5未満	± 0.015
0.5以上2.3未満	$\pm$ (設定圧力の3%)
2.3以上7.0未満	± 0.07

表2 蒸気用安全弁の吹下りの許容差

設定圧力 MPa (ゲージ圧)	吹下り MPa
0.4以下	0.03
0.4を超えるもの	設定圧力の7%以下 (4%以下)

注記. 受渡当事者間の協定によって括弧内の数字とすることができる。

表3 ガス用安全弁の吹下り

設定圧力 MPa (ゲージ圧)	吹下り MPa	
	メタルシート形	ソフトシート形
0.2以下	0.03以下	0.05以下
0.2を超えるもの	設定圧力の15%以下	設定圧力の25%以下

注. JIS B8210のご指定のない限り、当社の吹下り基準によります。

表4 液体用安全弁の吹下り

吹下り MPa	
メタルシート形	ソフトシート形
0.06又は設定圧力の20%のいずれか大きい方以下	受渡当事者間の協定による

資料/適用法規及び吹出し容量計算式

各計算式に代入する係数は、法規中にある数値のほか、社内数値(※)の場合もありますのでご注意ください。

※印：社内数値

1. 压力容器構造規格

(イ) 蒸気用 (JIS B8210-2017の式による)

$$Q_m = 5.25 C' K_{dr}' A P_0$$

Q_m：公称吹出し量 (kg/h)

A：吹出し面積 (mm²) 揚程式：A = πDL

$$\text{全量式：} A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D：弁座口の径 (mm)

L：リフト (mm)

d：ノド部の径 (mm)

P₀：吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.1+0.101)又は(設定圧力+0.020+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

C'：蒸気の性質による係数 (134頁表1参照)

飽和蒸気の場合は、下表による。

吹出し量決定圧力の絶対圧力P (MPa・A)	蒸気の性質による係数C'
0.5以下	1*
0.5を超え1.0以下	0.98*
1.0を超え2.0以下	0.97*
2.0を超え	0.96*

過熱蒸気の場合は、134頁表1による。

K_{dr}'：公称降格吹出し係数 揚程式：0.864*

$$\text{全量式：} 0.777$$

(ロ) ガス用 (JIS B8210-2017の式による)

$$Q_m = C'' K_{dr} P_0 A K_b \sqrt{\frac{M}{Z T_0}}$$

Q_m：公称吹出し量 (kg/h)

A：吹出し面積 (mm²) 揚程式：A = πDL

$$\text{全量式：} A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D：弁座口の径 (mm)

L：リフト (mm)

d：ノド部の径 (mm)

Z：圧縮係数：1*

T₀：吹出し量決定圧力におけるガスの絶対温度 (K)

P₀：吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.1+0.101)又は(設定圧力+0.020+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

P_b：背圧の絶対圧力 (MPa・A)

C''：断熱指数 (κ) による係数 (135頁式による)

κ：断熱 (等エントロピ) 指数 (135頁表4参照)

断熱 (等エントロピ) 指数 (κ) が不明の場合はκ=1.001としてC''=23.96

K_{dr}'：公称降格吹出し係数 揚程式：0.864*

$$\text{全量式：} 0.777$$

K_b：亜臨界流れに対する理論流量補正係数 (136頁式による)

M：ガスの分子量 (135頁表4参照)

■流入する気体の最大量の算定：「流入する気体の最大量」は、次の算式による。

$$G = 0.0028 u \rho d^2$$

G：気体の送込量 (kg/h)

u：気体の流速 (m/sec)

(飽和蒸気にあつては20以上、過熱蒸気にあつては30以上、一般気体にあつては10以上とする。)

ρ：気体の密度 (kg/m³)

d：管の内径 (mm)

(ハ) 水・温水用 (温度が120℃を超える場合も適用)

(1) 弁の所要吹出し量から求める場合

$$S = \frac{W}{87.7 \sqrt{(P_1 + 0.1) \kappa \gamma_1}}$$

(2) 压力容器の熱入力又は温水ボイラーの熱出力から求める場合

$$S = \frac{Q \varepsilon}{87.7 C \sqrt{(P_1 + 0.1) \kappa \gamma_1}}$$

(上式(1),(2)において(P₁+0.1)κが(P₁+0.1)κ>(P₁-P₂)となる場合は、(P₁+0.1)κを(P₁-P₂)に置き代えて計算する。)

S：吹出し面積 (mm²)

W：弁の所要吹出し量 (kg/h)

P₁：吹出し量決定圧力 (MPa) 注。

揚程式：設定圧力×1.1

ただし、SL-37~40,43,44型は、112頁参照

全量式：設定圧力×1.15又は設定圧力+0.034のいずれか大きい方の値をとる。

レリーフ弁(E・ED型)：設定圧力×1.25又は設定圧力+0.034のいずれか大きい方の値をとる。

P₂：弁の出口側圧力 (MPa)

κ：修正係数 (136頁図1参照)

Δt：吹出し量決定圧力P₁の飽和温度と弁の入口側温水温度との差 (℃)

γ₁：弁の入口側温水の密度 (kg/L) (134頁表2参照)

Q：压力容器の熱入力又は温水ボイラーの熱出力 (kJ/h)

ε：水の体膨張係数 (1/℃) (135頁表3参照)

C：水の定圧比熱 (kJ/kg℃) (135頁表3参照)

注. 全量式及びレリーフ弁の場合、P₁(吹出し量決定圧力)が「压力容器又は温水ボイラーの最高使用圧力×1.1(又は最高使用圧力+0.034)」を超えないことを確認してください。

資料/適用法規及び吹出し容量計算式

各計算式に代入する係数は、法規中にある数値のほか、社内数値(※)の場合もありますのでご注意ください。

※印：社内数値

2. ボイラー構造規格

(イ) 蒸気用 (JIS B8210-2017の式による)

$$Q_m = 5.25 C' K_{dr}' A P_0$$

Q_m：公称吹出し量 (kg/h)

A：吹出し面積 (mm²) 揚程式：A = πDL

$$\text{全量式：} A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D：弁座口の径 (mm)

L：リフト (mm)

d：ノド部の径 (mm)

P₀：吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.03+0.101)又は(設定圧力+0.015+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

C'：蒸気の性質による係数 (134頁表1参照)

飽和蒸気の場合は、下表による。

吹出し量決定圧力の絶対圧力P (MPa・A)	蒸気の性質による係数C'
0.5以下	1*
0.5を超え1.0以下	0.98*
1.0を超え2.0以下	0.97*
2.0を超え	0.96*

過熱蒸気の場合は、134頁表1による。

K_{dr}'：公称降格吹出し係数 揚程式：0.864*

全量式：0.777

(ロ) 温水用 (温度が120℃以下の場合に適用する) (温水が120℃を超える場合は(イ)蒸気用を用いる)

(1) 弁の所要吹出し量から求める場合

$$S = \frac{W}{87.7 \sqrt{(P_1 + 0.1) \kappa \gamma_1}}$$

(2) 圧力容器の熱入力又は温水ボイラーの熱出力から求める場合

$$S = \frac{Q \varepsilon}{87.7 C \sqrt{(P_1 + 0.1) \kappa \gamma_1}}$$

(上式(1),(2)において(P₁+0.1)κが(P₁+0.1)κ>(P₁-P₂)となる場合は、(P₁+0.1)κを(P₁-P₂)に置き代えて計算する。)

S：吹出し面積 (mm²)

W：弁の所要吹出し量 (kg/h)

注. 全量式及びレリーフ弁の場合、P₁(吹出し量決定圧力)が「圧力容器又は温水ボイラーの最高使用圧力×1.1(又は最高使用圧力+0.034)」を超えないことを確認してください。

P₁：吹出し量決定圧力 (MPa)

揚程式：設定圧力×1.1

ただし、SL-37～40,43,44型は、112頁参照

全量式：設定圧力×1.15又は設定圧力+0.034のいずれか大きい方の値をとる。

レリーフ弁(E・ED型)：設定圧力×1.25又は設定圧力+0.034のいずれか大きい方の値をとる。

P₂：弁の出口側圧力 (MPa)

κ：修正係数 (136頁図1参照)

Δt：吹出し量決定圧力P₁の飽和温度と弁の入口側温水温度との差 (℃)

γ₁：弁入口側の温水の密度 (kg/L) (134頁表2参照)

Q：温水ボイラーの熱出力 (kJ/h)

ε：水の体膨張係数 (1/℃) (135頁表3参照)

C：水の定圧比熱 (kJ/kg℃) (135頁表3参照)

■備考

温水の温度が120℃を超える温水ボイラーには安全弁を備えなければならない。その算式はQ_m=5.25C'K_{dr}'AP₀となる。
この場合の安全弁の所要吹出し量W (kg/h)は次式によって求められる。

$$W = \frac{Q}{h_1 - h_2}$$

W：安全弁の所要吹出し量 (kg/h)

Q：温水ボイラーの熱出力 (kJ/h)

h₁：ボイラーの最高使用圧力に相当する飽和蒸気の比エンタルピ (kJ/kg)

h₂：給水の比エンタルピ (kJ/kg)

$$W = \frac{Q \varepsilon}{C}$$

ε：水の体膨張係数 (1/℃) (135頁表3参照)

C：水の定圧比熱 (kJ/kg℃) (135頁表3参照)

(ハ) ダウサムボイラー用 (JIS B8210-2017の式による)

$$Q_m = C'' K_{dr}'' P_0 A K_b \sqrt{\frac{M}{Z T_0}}$$

Q_m：公称吹出し量 (kg/h)

A：吹出し面積 (mm²) 揚程式：A = πDL

$$\text{全量式：} A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D：弁座口の径 (mm)

L：リフト (mm)

d：ノド部の径 (mm)

Z：圧縮係数：1*

T₀：吹出し量決定圧力におけるガスの絶対温度(K)

P₀：吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.1+0.101)又は(設定圧力+0.020+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

P_b：背圧の絶対圧力 (MPa・A)

C''：断熱指数(κ)による係数 (135頁式による)

κ：断熱(等エントロピ)指数 (135頁表4参照)

断熱(等エントロピ)指数(κ)が不明の場合はκ=1.001としてC''=23.96

K_{dr}'：公称降格吹出し係数 揚程式：0.864*

全量式：0.777

K_b：亜臨界流れに対する理論流量補正係数 (136頁式による)

M：ガスの分子量 (135頁表4参照)

資料/適用法規及び吹出し容量計算式

各計算式に代入する係数は、法規中にある数値のほか、社内数値(※)の場合もありますのでご注意ください。

※印：社内数値

3. JIS B8210-2017安全弁

4. 電気事業法(発電用火力設備に関する技術基準)

(イ) 蒸気用 (JIS B8210-2017の式による)

$$Q_m = 5.25 C' K_{dr}' A P_0$$

Q_m：公称吹出し量 (kg/h)

A：吹出し面積 (mm²) 揚程式：A = πDL

$$\text{全量式：} A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D：弁座口の径 (mm)

L：リフト (mm)

d：ノド部の径 (mm)

P₀：吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

ボイラ用：(設定圧力×1.03+0.101)又は(設定圧力+0.015+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

圧力容器用：(設定圧力×1.1+0.101)又は(設定圧力+0.020+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

C'：蒸気の性質による係数 (134頁表1参照)

飽和蒸気の場合は、下表による。

吹出し量決定圧力の絶対圧力P (MPa・A)	蒸気の性質による係数C'
0.5以下	1*
0.5を超え1.0以下	0.98*
1.0を超え2.0以下	0.97*
2.0を超え	0.96*

過熱蒸気の場合は、134頁表1による。

K_{dr}'：公称降格吹出し係数 揚程式：0.864*

$$\text{全量式：} 0.777$$

(ロ) ガス用 (JIS B8210-2017の式による)

$$Q_m = C'' K_{dr}' P_0 A K_b \sqrt{\frac{M}{Z T_0}}$$

Q_m：公称吹出し量 (kg/h)

A：吹出し面積 (mm²) 揚程式：A = πDL

$$\text{全量式：} A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D：弁座口の径 (mm)

L：リフト (mm)

d：ノド部の径 (mm)

Z：圧縮係数：1*

T₀：吹出し量決定圧力におけるガスの絶対温度 (K)

P₀：吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.1+0.101)又は(設定圧力+0.020+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

P_b：背圧の絶対圧力 (MPa・A)

C''：断熱指数 (κ) による係数 (135頁式による)

κ：断熱 (等エントロピ) 指数 (135頁表4参照)

断熱 (等エントロピ) 指数 (κ) が不明の場合は κ = 1.001 として C'' = 23.96

K_{dr}'：公称降格吹出し係数 揚程式：0.864*

$$\text{全量式：} 0.777$$

K_b：亜臨界流れに対する理論流量補正係数 (136頁式による)

M：ガスの分子量 (135頁表4参照)

5. 高圧ガス保安法(液化石油ガス保安規則、一般高圧ガス保安規則)

(i) κに対応するP₂/P₁の値が136頁表7に示すP₂/P₁の値以下の場合

$$W = CKP_1 A \sqrt{\frac{M}{ZT}}$$

(ii) κに対応するP₂/P₁の値が136頁表7に示すP₂/P₁の値を超える場合

$$W = 5580 K P_1 A \sqrt{\frac{\kappa}{\kappa-1} \left\{ \left(\frac{P_2}{P_1} \right)^{\frac{2}{\kappa}} - \left(\frac{P_2}{P_1} \right)^{\frac{\kappa+1}{\kappa}} \right\} \sqrt{\frac{M}{ZT}}}$$

W：規定吹出し量 (kg/h)

A：吹出し面積 (cm²) 揚程式：A = πDL

$$\text{全量式：} A = \frac{\pi}{4} d^2$$

D：弁座口の径 (cm)

L：リフト (cm)

d：ノド部の径 (cm)

P₁：吹出し量決定圧力 (MPa・A)

(設定圧力 (許容圧力) × 1.1の絶対圧力)

P₂：大気圧を含む背圧 (MPa・A)

C：136頁表7に示すκに対する数値

κ：断熱 (等エントロピ) 指数

不明の場合：1.01

M：ガスの分子量 (135頁表4参照)

T：吹出し量決定圧力におけるガスの温度 (K)

K：吹出し係数 揚程式：0.87

$$\text{全量式：} 0.777$$

Z：圧縮係数：1*

資料/適用法規及び吹出し容量計算式

各計算に代入する係数は、法規中にある数値のほか、社内数値(※)の場合もありますのでご注意ください。

※印：社内数値

6. ガス事業法(ガス工作物技術基準)

(JIS B8210-2017の式による)

■ガス発生設備、ガス精製設備、ガスホルダー及び附帯設備(液化ガス用貯槽及び冷凍設備を除く)、液化ガス用貯槽に適用。

$$Q_m = C'' K_{dr} P_0 A K_b \sqrt{\frac{M}{Z T_0}}$$

Q_m：公称吹出し量 (kg/h)

A：吹出し面積 (mm²) 揚程式：A = πDL

$$\text{全量式：} A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D：弁座口の径 (mm)

L：リフト (mm)

d：ノド部の径 (mm)

Z：圧縮係数：1※

T₀：吹出し量決定圧力におけるガスの絶対温度 (K)

P₀：吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.1+0.101) 又は (設定圧力+0.020+0.101) のいずれか大きい方の値

P_b：背圧の絶対圧力 (MPa・A)

C''：断熱指数(κ)による係数(135頁式による)

κ：断熱(等エントロピ)指数(135頁表4参照)

断熱(等エントロピ)指数(κ)が不明の場合はκ=1.001として

C''=23.96

K_{dr}：公称降格吹出し係数 揚程式：0.864※

全量式：0.777

K_b：亜臨界流れに対する理論流量補正係数(136頁式による)

M：ガスの分子量(135頁表4参照)

7. 社内基準(水・温水を除く液体用)

$$W = 161 \times A K \sqrt{P G}$$

W：吹出し量 (kg/h)

A：開口面積 (mm²)

揚程式：A = πDL

$$\text{全量式：} A = 0.785d^2$$

L：リフト (mm)

D：弁座口の径 (mm)

dt：ノド部の径 (mm)

G：入口温度における比重

P：容量決定圧力 (MPa)

K：流量係数

揚程式：上ガイド式 0.55

羽根足 0.45 (型式、アキュムレーションにより異なります。)

全量式：0.60

表1. 蒸気の性質による係数C'

(JIS B8210-2017)

温度 (°C)	飽和 温度	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380	400	420	440	460
0.5	1.004	0.994	0.971	0.950	0.931	0.912	0.895	0.879	0.863	0.848	0.834	0.821	0.808	0.796	0.784
1.0	0.986	0.980	0.982	0.960	0.938	0.919	0.900	0.883	0.867	0.852	0.837	0.824	0.810	0.798	0.786
1.5	0.976	0.975	0.969	0.969	0.946	0.925	0.906	0.888	0.871	0.855	0.843	0.826	0.813	0.800	0.788
2.0	0.971		0.966	0.963	0.955	0.932	0.912	0.893	0.875	0.859	0.844	0.829	0.815	0.802	0.790
2.5	0.968			0.960	0.965	0.940	0.918	0.898	0.880	0.863	0.847	0.832	0.818	0.805	0.792
3.0	0.966			0.961	0.956	0.948	0.925	0.904	0.884	0.867	0.850	0.835	0.821	0.807	0.794
4.0	0.964				0.957	0.953	0.939	0.915	0.895	0.875	0.857	0.841	0.826	0.811	0.798
5.0	0.965					0.955	0.952	0.929	0.905	0.884	0.865	0.847	0.831	0.816	0.802
6.0	0.968					0.962	0.953	0.943	0.917	0.893	0.873	0.854	0.837	0.821	0.807
7.0	0.971						0.959	0.954	0.930	0.904	0.881	0.861	0.843	0.826	0.811
8.0	0.975						0.968	0.956	0.944	0.915	0.890	0.869	0.849	0.832	0.816
9.0	0.980							0.963	0.960	0.927	0.900	0.877	0.856	0.837	0.820
10.0	0.987							0.972	0.962	0.941	0.911	0.885	0.863	0.843	0.825
12.0	1.000							0.977	0.973	0.935	0.904	0.878	0.856	0.836	
14.0	1.019								1.005	0.982	0.964	0.926	0.896	0.870	0.848
16.0	1.039									1.005	1.001	0.952	0.916	0.886	0.861
18.0	1.068									1.044	1.007	0.977	0.933	0.903	0.875
20.0	1.100									1.036	1.011	0.958	0.917	0.890	

備考 圧力・温度が中間値の場合は、比例法によらず、絶対圧力・温度区分の最小値とする。ただし、絶対圧力0.5MPa・A以下の場合は絶対圧力0.5MPa・Aによる。
例. 公称吹出し量決定圧力(絶対圧力)=1.2MPa・A、温度230°Cの場合、C'=0.960

表2. 温水の密度γ₁ (kg/L) (ボイラー構造規格の解説より)

絶対圧力 (MPa・A)	0.1	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	2.2	2.5
40	0.992	0.992	0.992	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993
50	0.988	0.988	0.988	0.988	0.988	0.988	0.989	0.989	0.989	0.989	0.989	0.989	0.989
60	0.983	0.983	0.983	0.983	0.983	0.984	0.984	0.984	0.984	0.984	0.984	0.984	0.984
70	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.979	0.979	0.979
80	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.973	0.973	0.973
90	0.965	0.965	0.965	0.965	0.965	0.966	0.966	0.966	0.966	0.966	0.966	0.966	0.966
100		0.958	0.958	0.958	0.958	0.959	0.959	0.959	0.959	0.959	0.959	0.959	0.959
110		0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.952	0.952	0.952
120		0.943	0.943	0.943	0.943	0.943	0.943	0.943	0.944	0.944	0.944	0.944	0.944
130			0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.936	0.936
140			0.926	0.926	0.926	0.926	0.926	0.926	0.927	0.927	0.927	0.927	0.927
150				0.917	0.917	0.917	0.917	0.917	0.917	0.918	0.918	0.918	0.918
160					0.907	0.908	0.908	0.908	0.908	0.908	0.908	0.908	0.908
170					0.897	0.897	0.898	0.898	0.898	0.898	0.898	0.898	0.898
180						0.887	0.887	0.887	0.887	0.888	0.888	0.888	0.888
190							0.876	0.876	0.876	0.877	0.877	0.877	0.877
200								0.865	0.865	0.865	0.865	0.865	0.865
210									0.853	0.853	0.853	0.853	0.853
220													0.841

備考 この表の中間の値は比例法によって計算する。

注. 40°C未満：1

資料/適用法規及び吹出し容量計算式

表3. 温水の定圧比熱C及び体膨張係数ε
(ボイラー構造規格の解説より)

温度 ℃	定圧比熱C kJ/kg℃	体膨張係数ε 1/℃
40℃未満	4.150	0.00039
40	4.179	0.00039
50	4.181	0.00046
60	4.185	0.00053
70	4.190	0.00060
80	4.197	0.00066
90	4.205	0.00072
100	4.216	0.00079
110	4.229	0.00085
120	4.245	0.00090
130	4.263	0.00097
140	4.285	0.00103
150	4.310	0.00110
160	4.339	0.00118
170	4.371	0.00126
180	4.408	0.00134
190	4.449	0.00145
200	4.497	0.00155
210	4.551	0.00165
220	4.613	0.00179

備考 この表の中間の値は比例法によって計算する。

表4. ガスの性質

(JIS B8210-2017)

ガス名称	化学式	分子量M (kg/kmol)	断熱(等エントロピ)指数κ (0.1013MPa, 15℃)	臨界圧力 Pc (MPa)	臨界温度Tc (K)	臨界圧力比
アセチレン	C ₂ H ₂	26.02	1.26	6.282	309.15	0.553
空気	—	28.96	1.40	3.769	132.45	0.528
アンモニア	NH ₃	17.03	1.31	11.298	405.55	0.544
アルゴン	A (又はAr)	39.91	1.66	4.864	151.15	0.488
ノルマルブタン	C ₄ H ₁₀	58.08	1.11	3.648	426.15	0.583
二酸化炭素	CO ₂	44.00	1.30	7.397	304.25	0.546
一酸化炭素	CO	28.00	1.40	3.546	134.15	0.528
塩素	Cl ₂	70.91	1.35	7.711	417.15	0.537
クロロフルオロメタン (R22)	CHClF ₂	86.47	1.18	4.914	370.15	0.568
エタン	C ₂ H ₆	30.05	1.22	4.945	305.25	0.561
エチレン	C ₂ H ₄	28.03	1.25	5.157	282.85	0.555
水素	H ₂	2.015	1.41	1.297	33.25	0.527
塩化水素	HCl	36.46	1.41	8.268	324.55	0.527
硫化水素	H ₂ S	34.08	1.32	9.008	373.55	0.542
イソブタン	CH (CH ₃) ₃	58.08	1.11	3.749	407.15	0.583
メタン	CH ₄	16.03	1.31	4.641	190.65	0.544
塩化メチル	CH ₃ Cl	50.48	1.28	6.647	416.25	0.549
窒素	N ₂	28.02	1.40	3.394	126.05	0.528
亜酸化窒素	N ₂ O	44.02	1.30	7.265	309.65	0.546
酸素	O ₂	32.00	1.40	5.036	154.35	0.528
プロパン	C ₃ H ₈	44.06	1.13	4.357	368.75	0.578
プロピレン	C ₃ H ₆	42.05	1.15	4.660	365.45	0.574
二酸化硫黄	SO ₂	64.07	1.29	7.873	430.35	0.548
水蒸気	H ₂ O	18.02	—	22.064	647.10	—

断熱指数(κ)による係数(C'')

算定式

$$C'' = 39.48 \sqrt{\kappa \left(\frac{2}{\kappa + 1} \right)^{\frac{\kappa + 1}{\kappa - 1}}} \quad \kappa : \text{断熱(等エントロピ)指数(表4参照)}$$

表5. 断熱(等エントロピ)指数(κ)による係数(C'') (参考)

(JIS B8210-2009)

K	C''	K	C''	K	C''	K	C''	K	C''	K	C''
0.41	16.65	0.71	20.96	1.01	24.04	1.31	26.41	1.61	28.34	1.91	29.96
0.42	16.82	0.72	21.08	1.02	24.12	1.32	26.49	1.62	28.40	1.92	30.01
0.43	17.00	0.73	21.20	1.03	24.21	1.33	26.56	1.63	28.46	1.93	30.06
0.44	17.17	0.74	21.31	1.04	24.30	1.34	26.63	1.64	28.52	1.94	30.10
0.45	17.33	0.75	21.43	1.05	24.39	1.35	26.69	1.65	28.58	1.95	30.15
0.46	17.50	0.76	21.54	1.06	24.47	1.36	26.76	1.66	28.63	1.96	30.20
0.47	17.66	0.77	21.65	1.07	24.56	1.37	26.83	1.67	28.69	1.97	30.25
0.48	17.82	0.78	21.76	1.08	24.64	1.38	26.90	1.68	28.74	1.98	30.30
0.49	17.98	0.79	21.87	1.09	24.72	1.39	26.97	1.69	28.80	1.99	30.34
0.50	18.13	0.80	21.98	1.10	24.81	1.40	27.03	1.70	28.86	2.00	30.39
0.51	18.29	0.81	22.09	1.11	24.89	1.41	27.10	1.71	28.91	2.01	30.44
0.52	18.44	0.82	22.19	1.12	24.97	1.42	27.17	1.72	28.97	2.02	30.49
0.53	18.58	0.83	22.30	1.13	25.05	1.43	27.23	1.73	29.02	2.03	30.53
0.54	18.73	0.84	22.40	1.14	25.13	1.44	27.30	1.74	29.08	2.04	30.58
0.55	18.88	0.85	22.51	1.15	25.21	1.45	27.36	1.75	29.13	2.05	30.63
0.56	19.02	0.86	22.61	1.16	25.29	1.46	27.43	1.76	29.18	2.06	30.67
0.57	19.16	0.87	22.71	1.17	25.37	1.47	27.49	1.77	29.24	2.07	30.72
0.58	19.30	0.88	22.81	1.18	25.45	1.48	27.55	1.78	29.29	2.08	30.76
0.59	19.44	0.89	22.91	1.19	25.53	1.49	27.62	1.79	29.34	2.09	30.81
0.60	19.57	0.90	23.01	1.20	25.60	1.50	27.68	1.80	29.40	2.10	30.85
0.61	19.71	0.91	23.11	1.21	25.68	1.51	27.74	1.81	29.45	2.11	30.90
0.62	19.84	0.92	23.20	1.22	25.76	1.52	27.80	1.82	29.50	2.12	30.94
0.63	19.97	0.93	23.30	1.23	25.83	1.53	27.86	1.83	29.55	2.13	30.99
0.64	20.10	0.94	23.39	1.24	25.91	1.54	27.93	1.84	29.60	2.14	31.03
0.65	20.23	0.95	23.49	1.25	25.98	1.55	27.99	1.85	29.65	2.15	31.07
0.66	20.35	0.96	23.58	1.26	26.05	1.56	28.05	1.86	29.71	2.16	31.12
0.67	20.48	0.97	23.67	1.27	26.13	1.57	28.11	1.87	29.76	2.17	31.16
0.68	20.60	0.98	23.76	1.28	26.20	1.58	28.17	1.88	29.81	2.18	31.21
0.69	20.72	0.99	23.86	1.29	26.27	1.59	28.23	1.89	29.86	2.19	31.25
0.70	20.84	1.001	23.95	1.30	26.34	1.60	28.29	1.90	29.91	2.20	31.29

備考 この表の中間の値は補間法によって計算する。

資料/適用法規及び吹出し容量計算式

亜臨界流れに対する理論流量補正係数 (K_b)

算定式

$$\frac{P_b}{P_0} > \left(\frac{2}{\kappa+1}\right)^{\frac{\kappa}{\kappa-1}} \text{ の場合: } K_b = \frac{55.83}{C''} \sqrt{\frac{\kappa}{(\kappa-1)}} \left[\left(\frac{P_b}{P_0}\right)^{\frac{2}{\kappa}} - \left(\frac{P_b}{P_0}\right)^{\frac{\kappa+1}{\kappa}} \right]$$

$$\frac{P_b}{P_0} \leq \left(\frac{2}{\kappa+1}\right)^{\frac{\kappa}{\kappa-1}} \text{ の場合: } K_b = 1$$

P_0 : 吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

P_b : 背圧の絶対圧力 (MPa・A)

表6. 背圧補正係数 (K_b) 〈参考〉

(JIS B8210-2009)

P_2/P_1	断熱(等エントロピ)指数 (κ)												
	1.001	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2	2.1	2.2
0.50									1.00	1.00	0.99	0.99	0.99
0.52								1.00	0.99	0.99	0.99	0.99	0.98
0.54							1.00	0.99	0.99	0.99	0.98	0.98	0.98
0.56					1.00	1.00	0.99	0.99	0.98	0.98	0.98	0.97	0.97
0.58				1.00	0.99	0.99	0.99	0.98	0.98	0.97	0.97	0.96	0.96
0.60			1.00	0.99	0.99	0.98	0.98	0.97	0.97	0.96	0.96	0.95	0.94
0.62		1.00	0.99	0.99	0.98	0.97	0.97	0.96	0.96	0.95	0.94	0.94	0.93
0.64	1.00	0.99	0.99	0.98	0.97	0.96	0.96	0.95	0.94	0.94	0.93	0.92	0.92
0.66	0.99	0.98	0.98	0.97	0.96	0.95	0.94	0.94	0.93	0.92	0.91	0.91	0.90
0.68	0.98	0.98	0.97	0.96	0.95	0.94	0.93	0.92	0.91	0.90	0.90	0.89	0.88
0.70	0.97	0.96	0.95	0.94	0.93	0.92	0.91	0.90	0.89	0.89	0.88	0.87	0.86
0.72	0.96	0.95	0.94	0.93	0.91	0.90	0.89	0.88	0.87	0.87	0.86	0.85	0.84
0.74	0.95	0.93	0.92	0.91	0.89	0.88	0.87	0.86	0.85	0.84	0.84	0.83	0.82
0.76	0.93	0.91	0.90	0.88	0.87	0.86	0.85	0.84	0.83	0.82	0.81	0.80	0.80
0.78	0.91	0.89	0.87	0.86	0.85	0.83	0.82	0.81	0.80	0.79	0.78	0.78	0.77
0.80	0.88	0.86	0.85	0.83	0.82	0.81	0.79	0.78	0.77	0.76	0.76	0.75	0.74
0.82	0.85	0.83	0.82	0.80	0.79	0.77	0.76	0.75	0.74	0.73	0.72	0.71	0.71
0.84	0.82	0.80	0.78	0.77	0.75	0.74	0.73	0.72	0.71	0.70	0.69	0.68	0.67
0.86	0.78	0.76	0.74	0.73	0.71	0.70	0.69	0.68	0.67	0.66	0.65	0.64	0.63
0.88	0.73	0.71	0.70	0.68	0.67	0.66	0.64	0.63	0.62	0.61	0.61	0.60	0.59
0.90	0.68	0.66	0.65	0.63	0.62	0.60	0.59	0.58	0.57	0.57	0.56	0.55	0.54

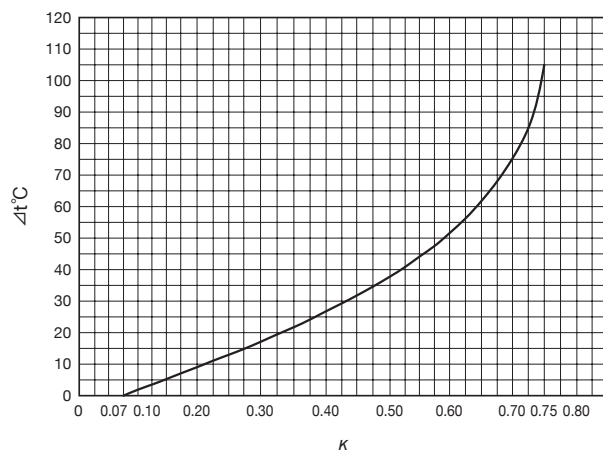
備考 この表の中間の値は補間法によって計算する。

表7. κ に対する数値C (高压ガス保安法に適用)

κ	C	P_2/P_1	κ	C	P_2/P_1
1.00	2380	0.606	1.40	2700	0.528
1.02	2410	0.602	1.42	2710	0.525
1.04	2420	0.597	1.44	2720	0.522
1.06	2440	0.593	1.46	2730	0.518
1.08	2460	0.588	1.48	2750	0.515
1.10	2480	0.584	1.50	2760	0.512
1.12	2490	0.580	1.52	2770	0.509
1.14	2500	0.576	1.54	2790	0.505
1.16	2520	0.571	1.56	2800	0.502
1.18	2540	0.567	1.58	2810	0.499
1.20	2550	0.563	1.60	2820	0.496
1.22	2570	0.559	1.62	2830	0.493
1.24	2590	0.556	1.64	2850	0.490
1.26	2600	0.552	1.66	2860	0.488
1.28	2620	0.549	1.68	2870	0.485
1.30	2630	0.545	1.70	2880	0.482
1.32	2650	0.542	1.80	2940	0.468
1.34	2660	0.538	1.90	2980	0.456
1.36	2680	0.535	2.00	3030	0.444
1.38	2690	0.531	2.20	3130	0.422

(注) κ が中間の値をとるときは補間法により値を求めその値は、Cの場合小数点以下は切捨て、 P_2/P_1 の場合は小数点以下4桁目以下は切捨てる。

図1. $\Delta t^\circ\text{C}$ に対する修正係数 κ (ボイラー構造規格の解説より)



資料/安全弁、逃し弁設置上のポイント

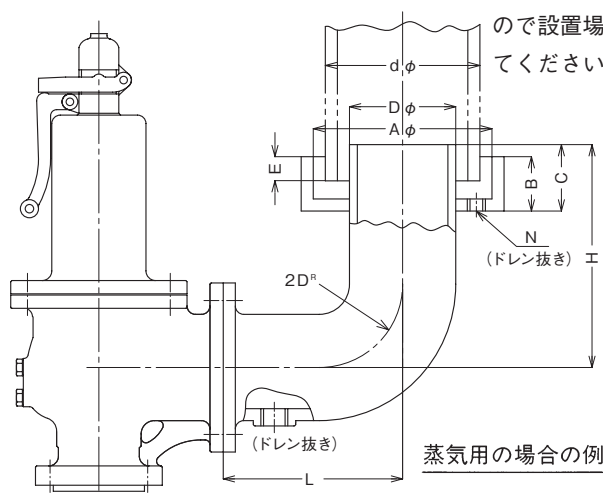
注意 設置時や運転に関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

1. 設置上の注意

- 安全弁は直立に取り付けてください。取付の際は、器内のスケール、塵埃などを除去し、ガスケット当り面を清掃してください。
 - 安全弁取付台の内径は、安全弁入口径以上とし、取付台の全長はできるだけ短くし、圧力損失を小さくします。
 - 安全弁取付台は、安全弁の吹出しによる反動力を受けますので、この反動力による圧縮、せん断、曲げ応力に対し十分な強度、剛性をもたせてください。
 - 吹出し管の内径は、安全弁出口径よりできるだけ大きくし、その長さをできる限り短い距離で、かつ曲りを避け、屋外又は安全な場所へ導くようにし、これを適当に支えて安全弁に不当な応力(熱応力を含む)が生じないようにしてください。
この吹出し管の吹出し場所は、吹出し時の事故防止のため、次の事項も考慮してください。
- 吹出し時の爆音・爆風の影響がある場所を避ける。
特に通行場所、立入場所を避ける。
 - 流体が蒸気・水の場合、湿気や水を嫌う電気機器、機械器具などの設置場所を避ける。
 - 流体が有害ガスの場合、腐食・有毒・酸欠などの状況になる場所を避ける。

- ねじ込形の安全弁、逃し弁の出口側吹出し管には弁の分解を容易にするため、直近にユニオン継手を使用してください。(次頁図1参照)
- 吹出し管にドレン、雨水などがたまる恐れがある場所では、それらを全部抜き得る位置に開放したドレン抜きを設け、排水溝まで導いてください。
 - 液体用又は有毒ガス用に使用する全量式安全弁で、背圧調整用のコックがついている場合は、必ず出口吹出し管に配管してください。(次頁図3参照)

- 装置や吹出し管などの熱膨張による安全弁への不当な影響を防ぐためには、下図のように弁の出口に適当な膨張継手を設け、その先に吹出し管を取り付けます。また安全弁の軸心から吹出し管の中心迄の距離は、反動力を制限するために、できるだけ小さくとり曲管の半径は $2D$ (D は曲管の内径)以上にしてください。参考までに安全弁の吹出し管の標準寸法を記します。
- レバー付(開放型)の場合、作動時上部のキャップ部からも流体が吹出しますので設置場所に当たっては十分考慮してください。(次頁図5参照)



■吹出し管参考寸法

出口側の径	D	d	(A)	B	C	E	L	H	N
40	40	65	130	60	80	30	130	220	Rc $\frac{3}{8}$
(50)	50	80	150	60	90	40	150	230	Rc $\frac{1}{2}$
65	65	100	200	60	100	40	180	270	Rc $\frac{1}{2}$
80	80	125	200	70	120	50	200	310	Rc $\frac{1}{2}$
100	100	150	250	70	140	60	250	370	Rc $\frac{3}{4}$
125	125	200	300	80	160	70	300	430	Rc 1
150	150	200	300	80	180	70	350	500	Rc 1
200	200	250	380	100	220	80	450	610	Rc 1

(mm)

2. 保守及び取扱い上の注意

- 安全弁の取付けに際しては振動、腐食などによってその機能が阻害される恐れのある場所を避け、外部から衝撃などを与えないでください。
- 安全弁取付け後テストレバーにより弁を作動させる時は、装置の圧力が弁吹出し圧力の75%以上に達した状態で作動させてください。
- 装置の常用運転圧力は、安全弁吹止り圧力の90%を超えないように又、脈

- 動のある場合には、80~85%を超えないように計画時考慮してください。
- 装置の水圧試験を行う場合は、できるだけ安全弁を外して行ってください。安全弁を取り付けて行う場合は次の事項を厳守してください。(次頁図4参照)
- ① 不当な荷重で弁を損傷しないよう装置の圧力が弁吹出し圧力の80~90%に上昇した後に「テストガグ※」を取付け、弁棒の先端を軽く押えてくだ

- さい。この際「テストガグ※」は必ず手で回してください。スパナなどで回すと過大な押付力が加えられ弁座を損傷したり、弁棒が曲がったりして作動不良の原因となります。
- ② 水圧試験が終了し、装置の圧力が弁吹出し圧力の80~90%に下がったならばただちに「テストガグ※」を外してください。

※テストガグは注文仕様になります。

資料/安全弁、逃し弁設置上のポイント



注意

設置時や運転に関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

■配管例図

図1. 圧力タンク取付例略図

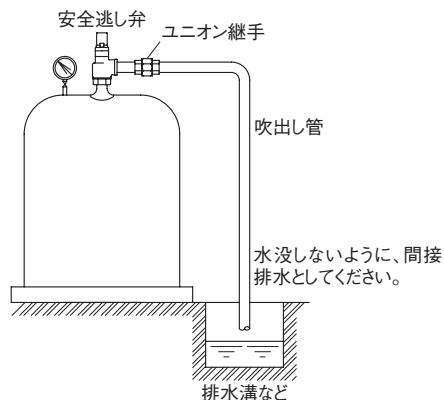


図2. 減圧弁二次側設置例略図

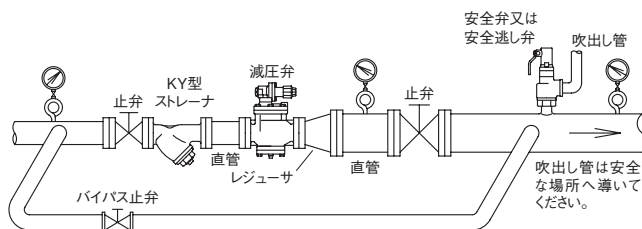


図3. 背圧調整用コック配管例略図

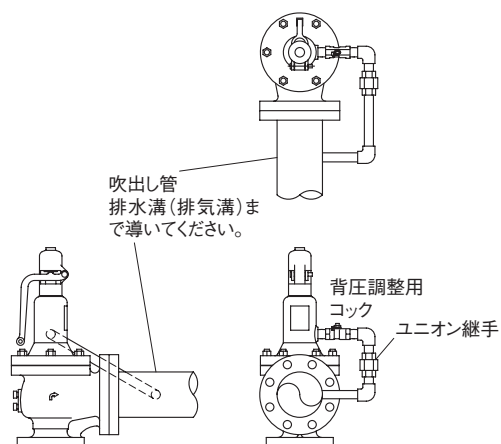


図4. テストガグ取付略図

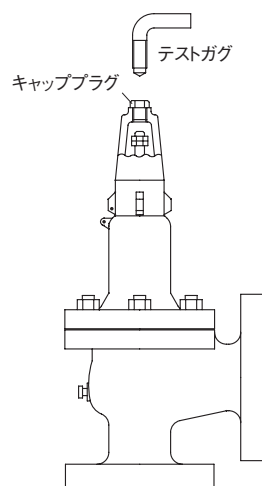
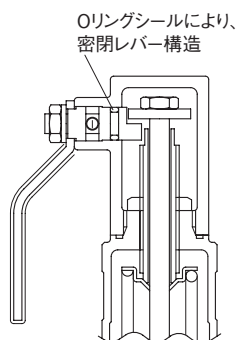


図5. レバー構造略図

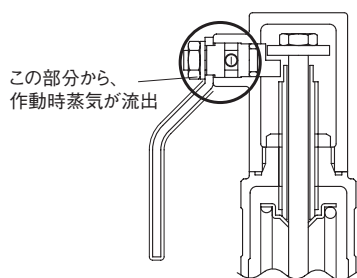
SL-37,39,39F,43型レバー構造

空気・気体・液体の場合



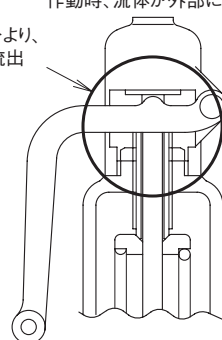
蒸気の場合

Oリングのシール性低下により、開放レバー構造としてお取扱ください。



一般の開放レバー構造

作動時、流体が外部に流出
この部分より、流体が流出



吹出し容量表(ボイラー構造規格)

〈蒸気用〉

■全量式

$$Q_m = 5.25C'K_dP_0 \dots\dots\dots [C' = (P_0 \text{が} 0.5 \text{MPa} \cdot A \text{以下} \text{ } C' = 1) \text{、}(P_0 \text{が} 0.5 \text{MPa} \cdot A \text{を超え} 1.0 \text{MPa} \cdot A \text{以下} \text{ } C' = 0.98) \text{、}(P_0 \text{が} 1.0 \text{MPa} \cdot A \text{を超え} 2.0 \text{MPa} \cdot A \text{以下} \text{ } C' = 0.97) \text{、}(P_0 \text{が} 2.0 \text{MPa} \cdot A \text{を超え} C' = 0.96)]$$
$$[K_d = 0.777, P \text{ (MPa} \cdot A) = (\text{設定圧力} \times 1.03 + 0.101) \text{又は} (\text{設定圧力} + 0.015 + 0.101) \text{のうちの大きい方}]$$

型式	口径 mm	設定圧力 MPa																	(kg/h)														
		0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7		1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	
SF-1H, 2H型	20	15	176.6	155	227	299	364	434	507	580	653	718	790	862	934	1000	1070	1150	1220	1290	1360	1420	1490										
	25	19	283.3	249	365	480	584	697	814	930	1040	1150	1260	1380	1490	1610	1720	1840	1960	2070	2190	2280	2390										
	40	30	706.5	622	910	1190	1450	1730	2030	2320	2610	2870	3160	3440	3730	4020	4310	4600	4880	5170	5460	5690	5970										
	50	38	1133.5	998	1460	1920	2330	2790	3250	3720	4190	4610	5070	5530	5990	6450	6920	7380	7840	8300	8760	9130	9590										
	15	11	94.9	83.6	122	161	195	233	272	311	350	386	424	463	502	540	579	618	656	695	734	764	803	841	879	917	950	990	1030	1070	1100	1140	1180
SF-19L型 SF-20L型	20	15	176.6	155	227	299	364	434	507	580	653	718	790	862	934	1000	1070	1150	1220	1290	1360	1420	1490	1560	1630	1700	1770	1850	1920	1990	2060	2130	2200
	25	19	283.3	249	365	480	584	697	814	930	1040	1150	1260	1380	1490	1610	1720	1840	1960	2070	2190	2280	2390	2510	2620	2740	2850	2960	3080	3190	3310	3420	3540
	30	30	706.5	622	910	1190	1450	1730	2030	2320	2610	2870	3160	3440	3730	4020	4310	4600	4880	5170	5460	5690	5970										
	40	40	706.5	622	910	1190	1450	1730	2030	2320	2610	2870	3160	3440	3730	4020	4310	4600	4880	5170	5460	5690	5970										
	50	38	1133.5	998	1460	1920	2330	2790	3250	3720	4190	4610	5070	5530	5990	6450	6920	7380	7840	8300	8760	9130	9590										
SF-13L, 14L型 SF-13型 SF-16L型 (0.1~1MPa)	25	19	283.3	249	365	480	584	697	814	930	1040	1150	1260																				
	30	30	706.5	622	910	1190	1450	1730	2030	2320	2610	2870	3160	3440	3730	4020	4310	4600	4880	5170	5460	5690	5970	6260	6540	6830	7110	7400	7680	7970	8250	8540	
	40	40	706.5	622	910	1190	1450	1730	2030	2320	2610	2870	3160	3440	3730	4020	4310	4600	4880	5170	5460	5690	5970	6260	6540	6830	7110	7400	7680	7970	8250	8540	
	50	38	1133.5	998	1460	1920	2330	2790	3250	3720	4190	4610	5070	5530	5990	6450	6920	7380	7840	8300	8760	9130	9590										
	60	61	2920.9	2570	3760	4950	6020	7190	8390	9590	10800	11800	13000	14200	15400	16600	17800	19000	20200	21400	22500	23500	24700	25800	27000	28200	29400	30600	31700	32900	34100	35300	
SF-17L型 SF-18型 (1~2MPa)	100	76	4534.1	3990	5840	7690	9350	11100	13000	14800	16700	18400	20200	22100	23900	25800	27600	29500	31300	33200	35000	36800	38600	40400	42000	43800	45600	47500	49300	51100	53000	54800	
	125	95	5805.8	5110	7480	9850	11900	14200	16600	19000	21400	23600	25900	28300	30700	33000	35400	37800	40100	42500	44900	46700	49100	51400	53800	56100	58400	60800	63100	65500	67800	70200	
	150	105	7084.6	6240	9130	12000	14600	17400	20300	23200	26100	28800	31700	34500	37400	40300	43200	46100	49000	51900	54800	57000	59900	62800	65600	68500	71300	74200	77100	79900	82800	85600	
	105	105	8654.6	7620	11100	14600	17800	21300	24800	28400	32000	35200	38700	42200	45700	49300	52800	56300	59800	63400	66900	69700	73200	76700	80200	83700	87200	90600	94100	97600	101000	104000	
	115	115	10381.6	9140	13300	17600	21400	25500	29800	34100	38300	42200	46400	50600	54900	59100	63300	67600	71800	76000	80300	83600	87800	92000	96200	100000	104000	108000	112000	117000	121000	125000	

dt: ノド部の径 (mm)、A: 吹出し面積 (mm²)

■揚程式

$$Q_m = 5.25C'K_dP_0 \dots\dots\dots [C' = (P_0 \text{が} 0.5 \text{MPa} \cdot A \text{以下} \text{ } C' = 1) \text{、}(P_0 \text{が} 0.5 \text{MPa} \cdot A \text{を超え} 1.0 \text{MPa} \cdot A \text{以下} \text{ } C' = 0.98) \text{、}(P_0 \text{が} 1.0 \text{MPa} \cdot A \text{を超え} 2.0 \text{MPa} \cdot A \text{以下} \text{ } C' = 0.97) \text{、}(P_0 \text{が} 2.0 \text{MPa} \cdot A \text{を超え} C' = 0.96)]$$
$$[K_d = 0.864, P \text{ (MPa} \cdot A) = (\text{設定圧力} \times 1.03 + 0.101) \text{又は} (\text{設定圧力} + 0.015 + 0.101) \text{のうちの大きい方}]$$

口径 mm	D	設定圧力 MPa																	(kg/h)														
		0.05	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6		1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0
15	15	18.8 [*]	14.1	18.4	26.9	35.4	43.1	51.4	60	68.6	77.3	85	93.5	102	110	119	127	136	144	153	161	168	176	185	193	202	210	219	227	235	244	252	261
20	20	31.4 [*]	23.6	30.7	45	59.2	72	85.9	100	114	129	142	156	170	184	198	213	227	241	255	270	281	295	309	323	337	351	365	379	394	408	422	436
25	25	54.9 [*]	41.3	53.7	78.6	103	125	150	175	200	225	248	273	298	322	347	372	397	422	447	472	491	516	541	565	590	615	639	664	688	713	738	762
32	32	80.3	60.4	78.6	115	151	184	219	256	293	330	363	399	435	472	508	545	581	617	654	690	719	755	791	827	863	899	935	971	1000	1040	1070	1110
40	40	125.6	94.5	123	180	237	288	343	401	458	516	568	625	681	738	795	852	909	966	1020	1080	1120	1180	1230	1290	1350	1400	1460	1510	1570	1630	1680	1740
50	50	204.1	153	199	292	385	488	558	652	745	839	923	1010	1100	1200	1290	1380	1470	1570	1660	1750	1820	1920	2010	2100	2190	2280	2370	2460	2560	2650	2740	2830
65	65	346.9	261	339	497	654	795	949	1100	1260	1420	1560	1720	1880	2040	2190	2350	2510	2660	2820	2980	3100	3260	3410	3570	3730	3880	4040	4190	4350	4500	4660	4820
75	75	447.4	336	438	641	844	1020	1220	1420	1630	1830	2020	2220	2420	2630	2830	3030	3240	3440	3640	3840	4000	4210	4410	4610	4810	5010	5210	5410	5610	5810	6010	6210
80	78.4	492.3	370	482	705	928	1120	1340	1570	1790	2020	2220	2440																				
100	100	785.0	591	769	1120	1480	1800	2140	2500	2860	3220	3550	3900	4260	4610	4970	5320	5680	6040	6390	6750	7030	7380	7730	8090	8440	8790	9140	9490	9850	10200	10500	10900
99.4	99.4	780.2	587	764	1110	1470	1780	2130	2490	2850	3200	3520	3880																				
125	125	1256.0	945	1230	1800	2370	2880	3430	4010	4580	5160	5680	6250	6810	7380	7950	8520	9090	9660	10200	10800	11200	11800	12300	12900	13500	14000	14600	15100	15700	16300	16800	17400
130	130	1347.0	1010	1310	1930	2540	3080	3680	4300	4920	5530	6090	6700																				
150	150	1789.8	1340	1750	2560	3370	4100	4900	5720	6530	7350	8090	8900	9710	10500	11300	12100	12900	13700	14500	15300	16000	16800	17600	18400	19200	20000	20800	21600	22400	23200	24000	24800
160	160	2009.6	1510	1960	2880	3790	4600	5500	6420	7340	8260	9080	10000																				

D: 弁座口の径 (mm)、A: 吹出し面積 (mm²)

※安全逃し弁 (SL-37~40, 39F, 40F型 (108~110頁)、SL-43, 44型 (111頁)) の吹出し面積、吹出し容量は本表の値と異なります。

吹出し容量表 (高圧ガス保安法)

注. 高圧ガス保安法適用の場合、お客様において
「都道府県知事が行う完成検査」を受けてください。

〈空気用〉

■全量式																																	W=CKP ^{1/4} √ ^M / _{ZT}[C=2700, K=0.777, M=28.96, Z=1, T=293] [P ₁ =(設定圧力(許容圧力)×1.1の絶対圧力)]														(kg/h)					
型式	呼径		設定圧力		A	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0																	
	15	20	25	40																																																
SF-19, 20型	15	1.1	0.949	132	269	338	407	476	545	614	683	751	820	889	958	1020	1090	1160	1230	1300	1370	1440	1500	1570	1640	1710	1780	1850	1920	1990	2060	2120																				
	20	1.5	1.766	246	374	502	630	758	886	1010	1140	1270	1390	1520	1650	1780	1910	2030	2160	2290	2420	2550	2680	2800	2930	3060	3190	3320	3440	3570	3700	3830	3960																			
	25	1.9	2.833	394	600	805	1010	1210	1420	1620	1830	2030	2240	2450	2650	2860	3060	3270	3470	3680	3880	4090	4300	4500	4710	4910	5120	5320	5530	5730	5940	6140	6350																			
SF-15型	40	2.5	4.906	683	1030	1390	1750	2100	2460	2810	3170	3530	3880	4240	4590	4950	5310	5660	6020	6370	6730	7090	7440	7800	8150	8510	8870	9220	9580	9930	10200	10600	11000																			
	30	3.0	7.065	984	1490	2000	2520	3030	3540	4060	4570	5080	5590	6110	6620	7130	7640	8160	8670	9180	9690	10200	10700	11200	11700	12200	12700	13200	13700	14300	14800	15300	15800																			
	50	3.4	9.074	1260	1920	2580	3230	3890	4550	5210	5870	6530	7180	7840	8500	9160	9820	10480	11140	11700	12400	13100	13700	14400	15000	15700	16400	17000	17700	18300	19000	19600	20300																			
SF-16型	50	3.8	11.335	1570	2400	3220	4040	4860	5680	6500	7320	8150	8980	9810	10600	11400	12200	13000	13900	14700	15500	16300	17200	18000	18800	19600	20400	21300	22100	22900	23700	24600	25400																			
	(0.1~1MPa)																																																			
	65	4.9	18.847	2620	3990	5360	6720	8090	9460	10800	12100	13500	14900	16300	17600	19000	20400	21700	23100	24500	25800	27200	28600	29900	31300	32700	34000	35400	36800	38100	39500	40900	42200																			
SF-17, 18型	80	5.5	23.746	3300	5030	6750	8470	10200	11900	13600	15300	17000	18800	20500	22200	23900	25700	27400	29100	30800	32500	34300	36000	37700	39400	41200	42900	44600	46300	48100	49800	51500	53200																			
	6.1	29.209	4070	6180	8300	10400	12500	14600	16700	18800	21000	23100	25200	27300	29500	31600	33700	35800	37900	40000	42200	44300	46400	48500	50600	52800	54900	57000	59100	61200	63400	65500																				
	100	6.9	37.373	5200	7910	10600	13300	16000	18700	21400	24100	26800	29600	32300	35000	37700	40400	43100	45800	48500	51300	54000	56700	59400	62100	64800	67500	70200	72900	75700	78400	81100	83800																			
SF-19, 20型	100	7.6	45.341	6310	9600	12800	16100	19400	22700	26000	29300	32600	35900	39200	42500	45800	49100	52400	55600	58900	62200	65500	68800	72100	75300	78600	81900	85200	88500	91800	95100	98400	101000																			
	8.6	58.058	8090	12300	16500	20700	24900	29100	33300	37500	41700	46000	50200	54400	58600	62800	67000	71200	75400	79600	83800	88100	92300	96500	100000	104000	109000	113000	117000	121000	126000	130000																				
	9.5	70.846	9870	15000	20100	25200	30400	35500	40700	45800	50900	56100	61200	66400	71500	76600	81600	86900	92100	97200	102000	107000	112000	117000	122000	126000	130000	134000	138000	143000	148000	153000	158000																			
SF-19, 20型 (2~3MPa)	125	10.5	86.546	12000	18300	24600	30900	37100	43400	49700	56000	62200	68500	74800	81100	87400	93600	99900	106000	112000	118000	125000	131000	137000	143000	150000	156000	162000	169000	175000	181000	187000	194000																			
	150	11.5	103.816	14400	22000	29500	37000	44500	52100	59600	67100	74700	82200	89700	97300	104800	112300	119800	127300	134800	142300	150000	157000	165000	172000	180000	187000	195000	202000	210000	217000	225000	232000																			
	注: ノド部の径(cm)、A: 吹出し面積 (cm ²)																																																			

dt: ノド部の径 (cm), A: 吹出し面積 (cm²)

■揚程式																																$W=CKP \cdot A \sqrt{\frac{M}{ZT}} \dots\dots\dots [C=2700, K=0.87, M=28.96, Z=1, T=293]$ [P ₁ =(設定圧力(許容圧力)×1.1の絶対圧力)]														(kg/h)													
呼径 D		設定圧力 MPa		A																																																							
				0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0																										
15	1.5	0.188	29.3	44.6	59.8	75.1	90.4	105	120	136	151	166	182	197	212	227	243	258	273	288	304	319	334	350	365	380	395	411	426	441	456	472																											
	2.0	0.314	48.9	74.5	100	125	151	176	202	227	253	278	304	329	355	380	406	431	457	482	508	533	559	584	610	635	661	686	712	737	763	788																											
	2.5	0.549	85.6	130	174	219	264	308	353	397	442	487	531	576	620	665	710	754	799	843	888	933	977	1020	1060	1110	1150	1200	1240	1280	1330	1370																											
	4.0	1.256	195	298	400	502	604	706	808	910	1010	1110	1210	1310	1420	1520	1620	1720	1820	1920	2020	2130	2230	2330	2440	2540	2640	2740	2840	2950	3050	3150																											
50	5.0	2.041	318	484	650	815	981	1140	1310	1470	1640	1810	1970	2140	2300	2470	2630	2800	2970	3130	3300	3460	3630	3800	3960	4130	4290	4460	4620	4790	4960	5120																											
	6.5	3.469	541	823	1100	1380	1660	1950	2230	2510	2790	3070	3350	3640	3920	4200	4480	4760	5050	5330	5610	5890	6170	6450	6740	7020	7300	7580	7860	8140	8430	8710																											
	7.5	4.474	698	1060	1420	1780	2150	2510	2870	3240	3600	3960	4330	4690	5050	5420	5780	6140	6510	6870	7240	7600	7960	8330	8690	9050	9420	9780	10100	10500	10800	11200																											
	10.0	7.850	1220	1860	2500	3130	3770	4410	5050	5680	6320	6960	7600	8230	8870	9510	10100	10700	11400	12000	12700	13300	13900	14600	15200	15800	16500	17100	17800	18400	19000	19700																											
125	12.5	12.560	1950	2980	4000	5020	6040	7060	8080	9100	10100	11100	12100	13100	14200	15200	16200	17200	18200	19300	20300	21300	22300	23300	24400	25400	26400	27400	28400	29500	30500	31500																											
	15.0	17.898	2790	4240	5700	7150	8600	10000	11500	12900	14400	15800	17300	18700	20200	21600	23100	24600	26000	27500	28900	30400	31800	33300	34700	36200	37600	39100	40500	42000	43500	44900																											

D: 弁座の径 (cm), A: 吹出し面積 (cm²)

〈液体用〉
(水・温水を除く)

P: 容量決定圧力 (MPa)、dt: ノド部の径 (mm) 注: 実際の算式に用いるPは、 $(P) + (\text{アキウムレシヨン圧力}) - (\text{背圧})$ の容量決定圧力 (MPa) です。

P: 容量決定圧力 (MPa)、dt: ノド部の径 (mm) 注: 実際の算式に用いるPは、 $(P) + (\text{アキウムレシヨン圧力}) - (\text{背圧})$ の容量決定圧力 (MPa) です。

P: 容量決定圧力(MPa)、D: 弁座口の径(mm)、L: リフト(mm) 注1. 係数Kとアキムレーション及びリフトは、型式により異なります。

注1. 係数 K とアキュレーション及びリフトは、型式により異なります。

るPは、(P)+(アキュレーション圧力)−(背圧)の容量決定圧力(MPa)です。
※安全逃し弁(SL-37〜40, 39F, 40F型(108〜110頁)、SL-43, 44型(111頁))の吐出し容量は本表の値と異なります。